

乙訓親まなびフォーラムを開催（乙訓教育局）



乙訓地域の企業・団体等の協力により「親育ネットおとくに」協議会を組織し、地域総がかりで子どもをはぐくむ環境づくりを進めています。

今年は、向陽高校を会場に、一般社団法人いんふぁんとroomさくらんぼ代表理事の松野敬子様による子どもの生活場面におけるリスクマネジメントの大切さに関する講演の後、保護者向けの防災講座、親子で制作や読書に取り組む親子講座などの8つの「親まなび講座」を実施。参加者からは、「成長する上でどこまでのリスクを許容するか考えることが大切ですね」「安全に関する知識を常にアップデートすることが重要だと実感しました」等の声が上がっていました。

南丹美術工芸パートナーズスクール事業（南丹教育局）

小学生が身近な先輩から学ぶことで将来に対する希望や関心を持ち、高校生は指導を通して日々の学習に対する自信や誇りを持てる「つながる学び」に取り組んでいます。

今年度は、亀岡市立蒔田野小学校3～6年生が、亀岡高校普通科美術・工芸専攻1年生から指導を受けました。初めはお互い緊張していましたが、高校生がスケッチブックにお手本を描いたり、「上手だね!その調子!」と声をかけたりすることで、小学生はのびのび楽しそうに作品を制作していました。

この取組で小学生は絵を描く楽しさと技法を、高校生は教える楽しさと難しさを学びました。作品の一部は京都丹波美術工芸教育展で展示し、1,600人もの来場者にご覧いただきました。



プラスワンスタディ ～「みらい」へつながる学びのボタン～（丹後教育局）



小・中学生の学習意欲の向上と学力の定着を図るとともに、高校生が地域の一員として貢献することで、高校生自身の自己存在感を向上させ、自らの進路を考える機会を創出することを目的に府立高校生が小・中学生の学習を支援する取組を行っています。

小・中学生は、高校生に寄り添ってもらいながら、丁寧に教えてもらうことで、学習内容の理解を深めるだけでなく、高校生の姿を見ることで自分の将来について考える機会となっています。高校生にとっては、活動を通じ、自己有用感、達成感を味わう機会になるとともに、教職という仕事に興味をもち、教員を目指すきっかけにもなっています。この取組を通じて、子どもたちが成人するまでを見通した丹後地域の公教育の充実・発展に取り組んでいます。

令和5年度京都府公立学校優秀教職員表彰 被表彰者

京都府教育委員会では、意欲と情熱を持って日々熱心に教育実践等に取り組んでいる優秀な教職員について、表彰を行っています。令和5年度は、47名、2団体の教職員を表彰し、11月16日（木）に表彰式を行いました！

【一般教職員部門】

長岡京市立長岡第十小学校	教諭	梅田 亜由美
大山崎町立第二大山崎小学校	教諭	中澤 加奈子
宇治市立南小倉小学校	教諭	岡本 奈奈
城陽市立寺西小学校	教諭	奥 真友子
京田辺市立三山木小学校	教諭	野村 幸人
木津川市立相楽小学校	養護教諭	西城 美智子
宇治市原町立田原小学校	教諭	松坂 大偉
相楽東部広域連立南山城小学校	教諭	村田 京子
綾部市立中筋小学校	教諭	由良 みどり
福知山市立六人部小学校	養護教諭	森山 ひろみ
福知山市立大江小学校	教諭	田和 浩
舞鶴市立明倫小学校	教諭	山田 晃陸
宇治市立東宇治中学校	教諭	竹内 健
八幡市立男山第二中学校	教諭	中藤 佑弥
精華町立精華中学校	教諭	武田 有史
亀岡市立亀岡中学校	教諭	井尻 智子
南丹市立園部中学校	養護教諭	北村 智子
京丹波町立瑞穂中学校	養護教諭	大槻 徳子
舞鶴市立城北中学校	教諭	堀毛 孝之
宮津市立宮津中学校	教諭	白杉 康郎
京丹後市立峰山中学校	教諭	大石 敦子
与謝野町宮津市中学校組合立橋立中学校	教諭	原田 鉄兵

【若手・新進教職員等奨励部門】

八幡市立くすのき小学校	教諭	渡下 慎也
向日市立西ノ岡中学校	教諭	岩木 孝真
京都府立洛水高等学校	教諭	辻 知之
京都府立木津高等学校	教諭	枅 元気
京都府立園部高等学校	教諭	岩田 和樹
京都府立宇治支援学校	教諭	山岡 健吾

【団体等部門】

京都府立北稜高等学校 学びの森北稜 推進チーム
京都府立向日が丘支援学校
向日が丘支援学校教育機会創造・発展チーム「Team New Vision」

京都府立清明高等学校	教諭	山下 大輔
京都府立洛北高等学校	教諭	繪野 佳子
京都府立朱雀高等学校	事務職員	片岸 遊
京都府立洛西高等学校	教諭	河本 卓
京都府立京都すばる高等学校	教諭	牧崎 高德
京都府立向陽高等学校	教諭	柏原 剛
京都府立東宇治高等学校	養護教諭	辻 智恵美
京都府立城南菱創高等学校	学校図書館司書	前原 由美子
京都府立西城陽高等学校	教諭	仙田 稔雄
京都府立京都八幡高等学校	教諭	児玉 智明
京都府立南陽高等学校	教諭	谷口 啓子
京都府立福知山高等学校	教諭	宇野 佳代
京都府立西舞鶴高等学校	教諭	柏野 大樹
京都府立宮津天橋高等学校	教諭	安見 孝政
京都府立海洋高等学校	養護教諭	永山 ひとみ
京都府立丹後緑風高等学校	教諭	小西 鉄也
京都府立向日が丘支援学校	教諭	加藤 亜希
京都府立城陽支援学校	教諭	上田 玲子
京都府立丹波支援学校	栄養教諭	森 沙織

❖ 教育委員の活動 ❖

10月17日、府教育委員が農芸高校を訪問し、水耕栽培が行われている温室や圃場等の学校施設を視察しました。

生徒が府内で活躍する農業者等とフリートークを行う「京都の農業を熱く語るトークセッション」の様子を視察し、教職員と意見交換を行いました。



教育委員からは「京都で唯一の農業専門高校として、全国でも優秀な成績を収めるなど、大変頼もしい。」

「これからの農業・畜産業を支える大切な人材が育成されており、うれしく思う。」などの意見がありました。

教育局の取組み

府教委 広報

きょうとふの教育

No.154

令和5年度冬号

発行：京都府教育委員会
編集：京都府教育庁管理部総務企画課
電話：075-414-5710
URL：https://www.kyoto-be.ne.jp/



個人

1位

陸上競技
体操（新体操）
レスリング

自転車競技
ウエイトリフティング

なぎなた

北稜高校
丹後緑風高校
海洋高校
丹後緑風高校
北桑田高校
海洋高校
宮津天橋高校
南陽高校

団体

1位

水泳（水球）
鳥羽高校

詳細はコチラ↓

令和5年度全国中学校
体育大会入賞一覧➡



令和5年度全国高等学校
総合体育大会入賞一覧➡



📞 ひとりで悩まないで! 📧

不登校、いじめ、友人関係、学習等の学校生活のことや、家庭内での気がかりな行動等、お子さんの教育や子育てについての相談を受け付けています。

電話教育相談

ふれあい・
すこやかテレフォン
(24時間受付)

075-612-3268
または 3301
0773-43-0390

来所教育相談

京都府総合教育センター（伏見区）及び北部研修所（綾部市）で、臨床心理士、精神科医などが直接会ってお話をうかがいます。

来所・巡回教育相談のお申込みは、「ふれあい・すこやかテレフォン」にお電話ください。

メール教育相談

「メール教育相談 京都」で検索してください。携帯電話からも相談できます。

※携帯電話の場合、受信拒否設定を解除してください。



巡回教育相談

お住まいの近くの教育局などに臨床心理士などが出向き、直接会ってお話をうかがいます。

不登校専用相談窓口

きょうと不登校相談ダイヤル
075-585-7588

毎週金曜日
13:00～16:30
受付
詳細はこちら➡



体罰専用相談電話

075-612-5013
(毎週水曜日 11:30～18:30)

家計が急変した世帯の 高校生などへの支援

失業や休業などにより収入が減り家計が急変した場合、修学資金の貸付をいつでも申請することができます。修学資金を返還している場合は、返還の猶予（返還の先延ばし）ができます。

また、失業などにより保護者など（親権者全員）の住民税所得割が非課税相当となった場合、返済の必要のない給付金の申請ができます。

詳細は、ホームページをご覧ください。

高校教育課修学支援係 TEL:075-414-5043

修学支援事業
ホームページ

修学支援 京都府教育委員会 検索 🔍

この夏の大会結果

大学連携
×調査研究

海の生態系の謎に迫る

西舞鶴高校では、毎年、
大学と連携した実習「地球環境と海の生態系」で、
森と海の世界調査を行っています。

- ヒノキの調査(森)
- 水質調査と魚や底生生物の採集(海・河川)など
- ➡ 森林・河川・海の相互関係や人間活動の影響を考察



自分たちで取得したデータだけでなく、
先輩が蓄積してきた17年分のデータを活用
➡ より多面的な視点で分析

海の調査では、地点ごとに生物の種類や数が全然違ったり感触が砂のようにサラサラしている泥があったりしてびっくりしました。



京都の町を縦横無尽・マレーシアデー

北稜高校では、さまざまな国や地域からやってきた高校生を
北稜ならではのおもてなしで歓迎しています。

マレーシアの姉妹校との交流の一日「マレーシアデー」

- 午前 歓迎セレモニー、マレーシアファッションショー、関西弁講座、授業交流
- 午後 京都の魅力発見！フィールドワーク
- マレーシアの高校生とグループをつくり、京都市内を観光案内。この日のために、京都の魅力が詰まったスポットを探し、ルートや経費等を考えて、それぞれのベストプランを準備。オリジナルの「英語版旅のしおり」を握りしめ、京都の町を縦横無尽に駆け巡りました！



府立学校では、魅力ある学校づくりと学校独自の特色ある取組を充実させるために、ふるさと納税を活用して学校を応援いただける寄附制度「府立学校特色化応援ファンディング事業」を実施しております。

令和5年10月末現在では、累計で877件・約2億円のご寄附をいただいております。教育環境のさらなる充実に向け取組を進めております。誠にありがとうございます。

本事業では、卒業生に限らず、どなたでも、母校や地域の学校など応援したい学校を指定してご寄附いただけます。皆様の応援をお待ちしております。

寄附のお申し込み方法等詳しくはこちら ➡



ふるさと納税で
府立学校を応援しませんか？

府立学校の探究活動



「総合的な探究の時間」では、生徒が自らテーマを設定し、様々な探究活動に取り組んでいます。
「主体的・対話的で深い学び」に向けた活動の一部を紹介します！

丹後ちりめん商品を開発・販売

与謝の海支援学校では、「伝統をつなぐ」をコンセプトに、地元企業から伝統産業を学び、地域課題について生徒たちが考える取組を行っています。京都芸術大学から製品デザインについて学び、丹後地域地場産業振興センターと連携し、
製作した製品を地域等のイベントで展示・販売等することで、**地域の魅力を発信**しています。

生徒たち ➡ 地元への理解・愛着・誇りや企業就労への意欲を育む
地域の方・地元企業 ➡ 障害理解促進や雇用拡大に繋がる



地域の伝統
×キャリア教育

ちゅう源氏と巡る 源氏物語 京都スタンプラリー

嵯峨野高校の「京・平安文化論ラボ」では、若者の古典離れを解消したいとの思いから、
生徒が自ら古典の魅力を伝える取組を考えて実践しています。

『源氏物語』ゆかりの社寺を訪れるスタンプラリーの企画・運営などに取り組んでいます。
➡ **古典の日文化基金未来賞を受賞！**

『源氏物語』の登場人物が抱く苦悩や喜びの感情は、現代の私たちにも通じるものがあります。この魅力を今後も発信し続けていきたいです。

今後もラボ活動を通じて、
実践的な課題解決能力を身に付けていきます。



文化を学ぶ
×魅力を伝える

地域とコラボ・ 購買心理を探る

地域を知る
×地域とつながる

峰山高校の「いさなご探究」では、地域を知り、地域とつながる取組を進めています。
地域で活躍されている方々から話を聞いたり、交流したりするだけでなく、一緒にプロジェクトを進めています。

- 地元のお肉屋さんとコラボ
自分たちがデザインしたパッケージでコロッケを販売。「どんなデザインのパッケージが購買意欲へ影響するのか？」を購入者へのアンケートで考察。

地域とつながる経験は、生徒の価値観を豊かにし、将来の選択肢を増やすことにもつながります。今後もこのような学校の枠を越えた取組を積極的に進めていきます。

マーケティングの仕組み、手法等を交流しながらプロジェクトを進めます。

地域のイベントでコロッケを販売し、購買意欲への影響を考察しました。



峰山高校「いさなご探究」の紹介ページ ➡



今冬には、源氏物語をテーマにした、
洋菓子店とのコラボ商品を販売します。